

豊中の未来を描こう！！

発行 2025 年 11 月

VOL. 229

か ん ば ら こ う い ち ろ う

神 原 宏 一 郎 の つ な が り 通 信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～

一気に肌寒くなり
衣替えが
追いつきません(汗)

豊中市議会議員

無所属



関心・期待感・信頼感を抱く政治へ

🌳🌳🌳 2024 年度決算審査!! 🌳🌳🌳

生成 AI の活用

～効果的に活用するための環境整備を！！～

Q. 市職員の生成 AI の活用事例や活用状況は？

A. 文書の要約やあいさつ文等の文面作成や、市のマニュアルや FAQ などの文書から関連情報を検索し、回答を生成する検索応答などで利用している。利用者数は 約60名/月、利用件数は約500件/月。

Q. 生成 AI の活用に関して、ルールや指針、マニュアルなどは策定しているのか？また、研修などの実施状況は？

A. 『豊中市生成AI利用のガイドライン』を作成し、利用上の遵守事項を規定している。また、ガイドラインの内容や基本的な利用方法についての研修を実施している。

☆意見・要望☆

職員の知識や意識の醸成、技術やノウハウの向上などデジタル人材の育成や、『AI統括責任者(CAIO)』の設置など専門知識や技術を持つ人材の確保に取り組むべき。生成AIのデメリットやリスクを的確に管理、対応し、個々の職員が効果的に活用できるようハード、ソフト両面の環境整備に努めて欲しい。

公用車(電気自動車)の管理

～費用面や利便性を考慮すべき！！～

Q. 本庁舎で集中管理している公用車の総数と電気自動車が占める割合は？

A. 集中管理している車両は全27台。そのうち、電気自動車は7台で約26%。

Q. 電気自動車とガソリン車、各1台当たりのリース料は？電気自動車の効果と課題は？

A. 1か月あたりのリース料は、電気自動車が約38,000円、ガソリン車が約13,000円。電気自動車は走行中の二酸化炭素の削減やガソリン代の減少に寄与する一方、充電場所や充電時間などのインフラ環境や経費面で課題がある。

☆意見・要望☆

充電場所や充電時間など利便性の課題や費用面のデメリットも考慮し、ハイブリット車の導入も検討すべき。



可搬型衛星通信設備の導入

～通信インフラの強化を！！～

Q. スターリンクのような可搬型衛星通信設備(衛星を介して通信を確保するシステム)の導入は検討できないか？

A. 可搬型衛星通信設備は、災害時でも、スマホでの通信やパソコン等での業務が可能で、ネットワーク環境の冗長化につながる一方、機器の構成や費用面などの課題整理が必要。他の手段の導入可能性とあわせて検討していく。

☆意見・要望☆

災害対応の初動を支えるだけでなく、IoT 機器の安定運用にも寄与し、避難所等の機能強化が期待できるため、導入に向けて、積極的に調査、検討して欲しい。

災害対応ドローン隊

～新技術の活用で消防力、救命力の強化を！！～

Q. 昨年度、結成された災害対応ドローン隊とは？

A. 消防職員14名と消防団員4名で構成され、大規模地震や火災、水難救助事案等の発生時に、ドローンによる市内の被害状況の把握や救助捜索活動などを行う。また、橋梁や水道橋等のインフラ点検も行う。

☆意見・要望☆

隊員の操作技術や分析技術など経験やノウハウが蓄積、向上されれば、より一層、多種多様かつ効果的な活用が期待されるため、隊員の人材育成、人材確保など組織力強化に努めて欲しい。

職員派遣と外部人材の受け入れ

～明確な目的設定と効果検証を！！～

Q. 昨年度は、大阪ガス、ANA、厚労省、経産省、万博首長連合、沖縄市、西宮市、日本国際博覧会協会に職員を派遣したが、派遣先や派遣先での業務内容、派遣期間、派遣職員の選定方法は？

A. 民間企業では、新規事業の企画実施や広報に従事し、官公庁では、介護保険制度やキャッシュレス決済の推進などの事業に従事。派遣期間は、基本的には1年から2年。派遣職員の人選は、庁内人材公募を実施し、職員の意欲や経歴、適正などを総合的に判断し、選定している。

Q. 民間事業者など外部からの人員の受け入れ状況は？

A. 令和4年5人、令和5年7人、令和6年5人を受け入れた。受け入れる職員は、派遣元が人選している。

☆意見・要望☆

市も派遣職員自身も、明確な目的意識を持って取り組んで欲しい。また、一度、これまでに派遣された職員の派遣後の成長、実績や成果などを調査、分析し、職員派遣の効果検証をして欲しい。一方、民間事業者等からの受け入れについては、受け入れた方から、様々なノウハウを習得したり、市の組織や市職員が、刺激や新たな発見、気づきを得られるような工夫や仕組みを講じて欲しい。

ペーパーレス化の推進

～徹底した諸経費の縮減、抑制を！！～

Q. 市役所の公共系ごみ処理委託料、電話代、郵便代の推移は？

A. 令和4年度から令和6年度まで、公共系ごみ処理委託料は、約343万円、約383万円、約566万円。電話代は、約2235万円、約2250万円、約2263万円。郵便代は、約4億1591万円、約3億4356万円、約3億4629万円。

☆意見・要望☆

ごみの減量を市民に指導啓発していることから、公共系ごみの減量についても積極的に取り組むべき。また、市民や事業者等との電話や郵便でのやり取りは、メールなどデジタルツールへの移行を検討すべき。さらに、FAXについては、時期を設定して、廃止することを検討すべき。

企業版ふるさと納税

～企業にも魅力的なまちへ！！～

Q. 企業に対し市の取組みを紹介し、企業版ふるさと納税の獲得を推進しているが、成果は出ているのか？

A. 事業紹介パンフレットを用いて、本市の様々な取組みを多数の事業者を紹介し、建設業種、不動産業種など5社からのご寄附につながった。

Q. 企業はどのような視点やねらいをもって、ふるさと納税をする自治体を選択していると考えられるか？

A. 地域への貢献や社会的責任を果たすことを重視するとともに、寄附の使い道がその目的にあった事業内容であることや、事業がもたらす社会的インパクトなどを考慮して、ふるさと納税をする自治体を選択されていると考えている。

☆意見・要望☆

様々な企業に本市の事業や取組みを紹介して回ることは、たとえ、寄附を頂けなかったとしても、企業に対する豊中市の認知度向上やまちの魅力を広める機会となることから、引き続き、積極的な営業活動に取り組んで欲しい。また、少しでも多くの事業者から多くの寄附を頂けるよう、企業がどういった点や要素を重視して寄附先の自治体を選定しているか、詳細に調査、分析して欲しい。

熱中症対策

～デジタル技術の積極的活用を！！～

Q. 本市の熱中症による救急搬送件数と死者数は？

A. 令和6年度の熱中症搬送件数は240人、死者数は1人。

Q. 東京都では、体内の温度を把握できるリストバンド型の端末を熱中症リスクの高い高齢者世帯への配布を念頭に実証実験による性能確認が行われている。本市消防局ではデジタル技術による熱中症対策は検討していないのか？

A. 現在のところ検討はしていないが、関係部局と情報共有を図るとともに、今後の動向を注視する。

☆意見・要望☆

熱中症対策の端末機器など、異常を察知し、本人に気付かせたり、自動で通報するなどのデジタルツールやシステムについて、調査研究を進めて欲しい。

神原宏一郎の決算委員会での質問の全容は

ホームページをご覧ください。

<http://positivesquare.sakura.ne.jp/>

神原宏一郎事務所(前向きひろば)

〒560-0021 豊中市本町 3-1-20 エルビル 2 階
TEL&FAX:6854-5664

平日(土・日祝日は除く)の10時から17時はスタッフがおります。

young_spiritjp@yahoo.co.jp

<http://positive-square.sakura.ne.jp/>

※この通信物は、政務活動費を使用し発行しています。

発行元 大阪維新の会・無所属議員団(神原所属会派)

〒561-8501 豊中市中桜塚 3-1-1 ☎6858-2525(代表)

